# "未来"と話せる 東紀州未来学

三重県立 能野青藍高等学校

本校では、各教科の授業で"探究"の基礎を学ぶとともに、関連する専門的な授業や「総合的な探究の時 間」、「産業社会と人間」、様々な課外活動をとおして、日常生活や地域と関わりのある疑問や問題点を課 題として設定し、その解決に向けた探究活動を行っていきます。その中で、自分の考えを更新したり実践 に移したりしながら、自分をバージョンアップさせていきます。このような探究活動をとおして、持続可 能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って幸福を実現できる資質・能力を育成する学 びが「東紀州未来学」です。ここで得られた成果は、授業内や成果発表会等で発表し共有します。

## 各教科の授業での学び

言語能力

情報活用能力 【 問題発見・解決能力

課題の設定

## 基礎から身に付け、

まとめ・表現

分析・考察した結果 に基づき、目的に応 じて、小論文やレポ ート、プレゼンテー ション等の様々な方 法で表現します。

※「産業社会と人間」は、総合学科で 開設される授業です。

日常生活や地域に目を向けたとき に湧き上がってくる疑問や関心に 基づいて、課題を設定します。

関連する専門的な授業 総合的な探究の時間 産業社会と人間

> 課外活動 整理・分析

収集した情報について、個人やグ ループで検討し、自分の考えや仮 説の正しさを証明できるように分 析・考察を行います。

情報の収集

設定した課題に関す る情報を、多様な方 法で収集します。必 要に応じて、仮説を 立てたり追加調査を 行ったりします。

確かな探究活動へ

### 育成する力

「東紀州未来学」では、多様な他者と協働しながら夢や目標に向かって挑戦する力や、地域や 産業の役割を理解し地域創生に生かす力、自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会をつ くる力、新たな価値を生み出すために柔軟に発想し創造する力等を育成します。

#### 探究事例

SDGs 1

右の事例は、令和5年 度にかけて行われた、 SDGsの視点から課 題解決を探る活動で す。これらの活動の実 績を、関連する授業等 の学びの中で引き継 ぎ、地域連携型の「東紀 州未来学」としてリニ ューアルします。

「震災で悲しみを抱える人を つくらない地域」を目指し、非

常持出袋の商品 化で得た資金を 使って、施設に ピクトグラムを 設置しました。





地元の木材企業と地域産業の 発展と地域活性化を考え、環境

に優しい面から 考えた新しい商 品開発などのア イデアの提案を 発表しました。





農薬の使用が少なく、環境負荷 が小さい、薬用向けの甘夏みか

ん栽培について 調査を行い、こ れを普及するた めのアイデアを 発表しました。



